

MELON 理事長が交代

2007年6月末日の任期満了をもって木村修一前理事長が理事長職を辞任し、7月9日に行われた2007年度第2回理事会にて長谷川公一理事が理事長に選任され、就任しました。

MELON 発足以来、14年間代表を務めた木村修一前理事長の勇退に伴い、第2回理事会終了後に記念講話を催しました。今回の74号は紙面を増やし、記念講話のレポートをお届けします。ぜひお読みください。



木村修一前理事長あいさつ

MELON の今後の活動に期待



木村修一前理事長

以前にもこの欄で書きましたが、20世紀は人間の歴史の中で、最も華やかにサイエンスが開いた世紀でした。私が子どもの頃に聞いて空想をかきたてた「お月さんに棲むウサギ」の話は、大人になっても持ち続けたい夢の話でした

が、「月に人間が踏み込んだ」現在、この童話を孫たちに語り聞かせることさえ迷ってしまう宇宙科学の進展ぶりです。

しかし、この快挙もその背景に軍事力の威嚇がちらついて見えるし、原子爆弾にみるように、科学が破壊力と殺傷力を高めるための道具になったこともこの世紀であり、地球レベルの環境破壊をもたらした不幸な世紀でもありました。なぜか若いころに読んだリシエの「愚かなる人間」がよみ

がえるのです。「地球サミット」の宣言は、これに立ち向かう人間の知恵を示すものでした。しかし、現実には中東その他の戦争はなかなか終わる気配がなく、それどころか、日本の最近の動きは、憲法九条をなくして戦争に加担する動きがうかがえてなりません。

「地球サミット」の精神を基盤に生まれたMELONは、人間の知恵を掲げる担い手の一員として、地球環境の破壊を防ぐ活動を地道に力強く続けていくことが求められています。MELONの特徴である「環境とくらし」を守るスタイルの活動はかなり定着しており、社会的な認知度もずいぶん高まってきていると思います。理事長を辞任するにあたり、身近な環境問題の1つとして、宮城県顔でもある仙台市を本当に「環境を配慮した社の都」と誇らかに言えるような街づくりの構想と提言も、今後のMELONの活動に入れていただきたいということをお願いしたいのです。MELONよ、頑張れ！

*** Index ***

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| P2. 長谷川公一新理事長あいさつ | P 6. エコdeスマイルコンテスト in みやぎ |
| P3-4. 第12回 MELON 会員と市民のつどい | シリーズ かんきょう読み聞かせ |
| I - IV. 記念講話レポート | P7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」 |
| P5. 市民講座 田んぼの学校 | MELON 協力団体の情報コーナー |
| MELON20周年を目指せ！ | P8. MELON イベント開催予定 |
| 50人リレートーク | |